

日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協下越支局 2F TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556

第 122 号

2016.5.15

発行人 福井 正史

1部5円購読料は会費に

En la union Esta la fueraza

団結こそ力

「心をひとつに力をあわせ暮らしの底上げを実現しよう!」

「底上げ」「底支え」第87回下越地区メーデー



4月27日(水)胎内市産業文化会館多目的ホ ールにおいて、第87回胎内地区メーデーが開催 されました。当日は、胎内市内で働く勤労者300 名が参加し、「底上げ、底支え」をテーマに団結 して取り組むことを確認し、メーデースローガ ン、メーデー宣言並びに特別決議の提案は、満 場一致で採択されました。また、来賓として三 宅副市長、黒岩宇洋衆議院議員、佐藤浩雄新潟 県議会議員、第24回参議院選挙·新潟県選挙区 野党統一候補予定者森ゆうこ、ほかのご出席を 賜り、激励のご挨拶をいただきました。最後は、 瀬賀支部長の「団結がんばろう」の掛け声とと もに参加者全員で団結を誓い盛況のうちに第一 部を終了しました。第二部のアトラクションで は、恒例の大抽選会が行われ、一等の自転車を はじめ、胎内市の特産品など多数の景品の抽選 を参加者の皆さんは大いに楽しんでいました。 メーデー会場にて熊本震災カンパを取り組くみ ました。 (事務局長 吉田健吾)



5月1日(日)、阿賀野市福祉会館において、第87回阿賀野地区メーデーを開催しました。例年、瓢湖水きん公園を会場としていますが、今年は天候に恵まれず、屋内会場での開催となりました。

阿賀野地区メーデーは、子ども連れで参加される組合員も多く、悪天候にもかからず、今年度も200人以上の方から来場いただきまい、「団結がんばろう」で加入単組の団結を誓い、式典の幕を閉じた後は、皆さんお待ちかね 100円販売、全員参加のビンゴ大会等の催しを実施しました。揚げパンの売上金につては、本地震で被災された皆さんへお送りすることに交換でされた皆さんへお送りすることに交換でされた皆さんでき、組合員間の祭典となりました。(事務局長 石井宏行)



第87回村上・岩船地区メーデー式典が4月29日村上市勤労者青少年ホーム体育館で開催されました。地域の労働者やその家族・高齢協の仲間の皆さんなど11団体・300名に及ぶ大勢の方が会場に駆けつけてくれました。

式典は、実行委員長、高橋村上市長や国会議員・県会議員・市会議員など多くの来賓の方々からの激励の挨拶をいただきました。各単組・団体の自己紹介を行い地域労働者・住民の連帯強化の必要性を改めて確認しました。その後、プラカードコンクールや抽選会が行われ、式典開催直前にお願いした「熊本地震救援カンパ」は、参加した組合職員の協力で83,632円を大震災救援カンパ金として送金できました。

(事務局長中山 仁)



五泉支部では 4 月 29 日に五泉市総合会館中ホールにてメーデーを開催しました。式典では久志田事務局長をはじめ多くのご来賓の皆様ご列席のもと、総勢 350 人もの大勢の皆さんに参加していただきました。毎年恒例となったプラカードコンクールと地元特産品を懸けたお楽しみ抽選会も行い、大変盛り上がりました。

五泉市民にピールするデモ行進は、雨天中止となりました。(事務局長 井上和巳)



4月29日に行なわれた東蒲原地区メーデーには7単組102人が参加しました。各単組から提案された、国内や地域の情勢に即した決議文を採択し、地域の働く仲間の団結を再確認した集会となりました。また前日のメーデー前夜祭では7単組17チーム67人が参加し、ボウリング大会を行ないました。和気藹々ながらも、レベルの高い白熱したゲームが展開されました。(支部長西山清志)



5月1日に新発田地区メーデーを開催、デモ行進による市民へのアピールを行い、その後、式典を新発田市民文化会館で開催しました。第87回メーデーのテーマは「底上げ・底支え」です。だれもが安心して働き・暮らせる当たり前に社会が奪われようとしています。今、政府は労働者護ルールの改悪の議論を進めています。メーデーの由来である1日24時間を、8時間は労働のため、8時間は休息にそして残りの8時間は自分のために。5月1日に改めて"働くことを軸とする安心社会"安心して働き暮らせる当たり前の社会への思いをより一層強めるメーデーになりました。また、熊本震災の対応として新発田地区メーデー会場でカンパ活動を行いました。